

Christian Name

クリスチャンネーム

知っておきたいキリスト教のことば (124)

洗礼名 せんれいめい

わたしはバプテスト系の教会で、洗礼を受けました。初めて聖公会の教会に行ったのは30代半ばになってからでしたが、掲示板の牧師紹介のところに「司祭パウロ ○○ ○○」と書かれていたのを見て、どんな人が出てくるのかドキドキしたのを覚えています。

聖公会やカトリック教会では、「洗礼名(教名)」を付ける伝統があります。洗礼を受ける際や、わたしのように他教派から移って来て堅信式を受ける際に名前をいただきます。

洗礼名は、幼児洗礼のときは両親や教父母、牧師が、大人の場合は本人と教父母、牧師が相談して決める事が多いようです。聖書に出てくる人物名(ペトロやマリア)や天使(ミカエルやガブリエル)、信仰者の名前(オーガスチン、アグネス、セシリア、フランシスコ)などから選びます。またアガペー(愛)やソフィア(知恵)など、聖書の言葉にちなんでつけることもあります。

カトリック教会や東方教会では、「聖人崇拝」をおこなっています。洗礼名として付けた人物は「守護聖人」として、その人をとりなし、守ってくれるという信仰です。

一方聖公会には、他のプロテスタント教会同様、聖人という考え方はありません。ではどうして洗礼名を付けるのでしょうか。それは、その人物などをいつも心に留め、信仰生活を送るためなのだと思います。

わたしの洗礼名はマタイです。それはわたしが堅信式を受けた当時、某放送局の集金業務をしていたからです。(暴利はむさぼっていませんでしたが)。そしてことあるごとに、イエス様の招きを受けて立ち上がったマタイの姿を思い起こしながら日々を歩んでいます。自分の信仰の道しるべとして、洗礼名はあるのかもしれませんが。

次回は「創造」です。楽しみに。



「キリストの洗礼」

ジョット・ディ・ボンドーネ

(1267~1337年)

こうして十二人を任命された。シモンにはペトロという名を付けられた。

(マルコによる福音書3章16節)

